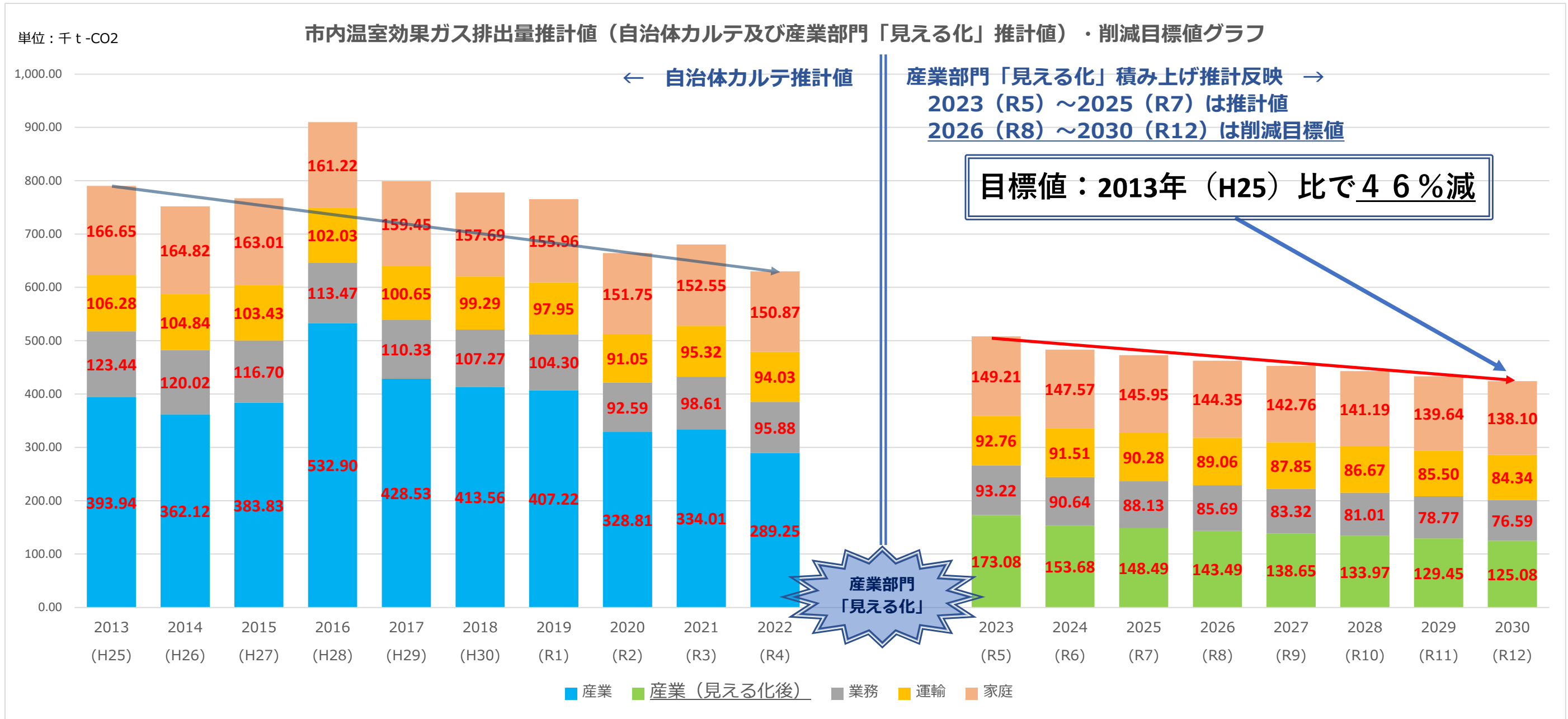


① 目標値（2030年度）達成のための温室効果ガスの削減率・削減量設定



2026年（R8）～2030年（R12）の各部門毎の削減目標値、目標率

※産業部門については「見える化」による推計値、他部門についても可視化データが判明した時点でその数値で対比を行う

単位（千t-CO2）

	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	総削減量 (R8~R12)	削減率 (前年比)
産業（見える化後）	143.49	138.65	133.97	129.45	125.08	18.40	△ 3.37%
業務	85.69	83.32	81.01	78.77	76.59	9.10	△ 2.77%
運輸	89.06	87.85	86.67	85.50	84.34	4.72	△ 1.35%
家庭	144.35	142.76	141.19	139.64	138.10	6.24	△ 1.10%
計	462.58	452.58	442.84	433.35	424.12	38.46	△ 2.15%
2013 (H25) 比 (%)	58.5%	57.3%	56.0%	54.8%	53.7%		

← 2013年比 △46%を達成！

○産業（見える化後）について

R5年度より開始した「事業者向け温室効果ガス見える化」事業への各協力事業者より提供されたエネルギー使用量データに基づき算出した「温室効果ガス」、及び製造品出荷額に占める割合から計算を行う「積み上げ推計」を行ったもの（R5、6年度は実際のデータに基づいた積み上げ推計値、以降は目標削減率を反映した目標値）

全国、全道値からの頭割り推計では可視化できなかった、本市の産業構造を反映した数字、傾向を反映したものと考えられ、今後同様の「積み上げ推計」を他部門（可能な分野）でも実施し、実態把握と削減量検証を進めていく。

部門別・実施主体別の具体の施策は「施策編」へ